

# 認知症の母と脳科学者の私

## ～記憶を失っても「その人」らしくいられるのか？～

「なぜ、同じことを何度も聞くの？」 「なぜ、受診の話をするとう怒り出すの？」

「なぜ、同じものをいくつも買ってしまうの？」

家族や介護者が抱く認知症の人に対する「なぜ？」はたくさんあります。

このセミナーでは、母親がアルツハイマー型認知症を患い「母が母でなくなるかもしれない」という恐怖に襲われた脳科学者の講師が「娘」と「脳科学者」の両方の立場から症状に向き合い「その人らしさとは？」という人間の根本について分析し続けた体験をお話しいたします。

脳科学の観点から認知症への理解を深め、認知症患者の「その人」らしさを活かす接し方を、一緒に考えてみませんか？

**日時** 令和6年2月22日(木)

14:00～16:00

**対象** 関心のある方

**内容** ①講演 (90分)

「認知症の母と脳科学者の私  
～記憶を失っても『その人』  
らしくいられるのか？～」  
恩蔵 絢子 氏

②行政説明 (10分)

「神戸市の認知症施策  
～認知症の人にやさしいまち  
神戸モデルとは～」  
神戸市福祉局高齢福祉課



おんぞう あやこ

**講師** 恩蔵 絢子 氏

<プロフィール>

脳科学者。金城学院大学、早稲田大学、日本女子大学の非常勤講師。東京大学大学院総合文化研究科特任研究員。専門は自意識と感情。共に暮らす母親が認知症と診断されて以来、生活の中で表れる症状に娘として向き合い記録。医師とは異なる脳科学者の立場から分析し、認知症の理解を広めるべく情報発信をしている。

<主な著書等>

NHKスペシャル出演。

『脳科学者の母が、認知症になる』(河出書房新社)、  
『なぜ、認知症の人は家に帰りたがるのか』(永島徹との  
共著、中央法規) 他多数

①会場参加 または  
②オンライン視聴(後日)  
いずれかの方法でご参加いただけます

**①会場参加** ※手話通訳あり

日時:2月22日(木)14:00～16:00

【当日受付13:30～】

会場:こうべ市民福祉交流センター 201教室  
(神戸市中央区磯上通3丁目1-32)

定員:100名(応募者多数の場合、抽選)

**②オンライン視聴(後日)**

3月11日(月)以降に、メールにて期間限定のYouTube動画視聴URLを送信します。

定員:300名

※当日のライブ動画配信ではなく、後日、期間限定で公開する動画配信です。ご注意ください。

※視聴期間は約2週間を予定しております。

お申し込みについては、裏面をご覧ください。

## お申込み方法

以下①②いずれかでお申し込みください。

### ①会場参加

- 市民福祉大学HP: “新着案内” 「市民福祉セミナー(会場参加)」申込フォームより
- FAX: 以下の「会場参加用FAX申込フォーム」に記入→078-271-5365へ
- TEL: 078-271-5300へ



※受講の可否については、申込締切以降、申込時にお知らせいただいたご住所へハガキにてお知らせします。

申込締切: 令和6年2月5日(月)

※応募者多数の場合は、抽選となります。

### ②オンライン視聴(後日)

- 市民福祉大学HP: “新着案内” 「市民福祉セミナー(オンライン視聴)」申込フォームより
- ※3月11日(月)以降、申込時にお知らせいただいたメールアドレスへ視聴URLをお送りします。



申込締切: 令和6年2月29日(木)

## 会場参加用FAX申込フォーム

以下、枠内をご記入の上、送信してください

(FAX番号: 078-271-5365)

ふりがな			
お名前	【所属】		(ない場合は記入不要)
住所	〒 -		
電話番号		FAX	

ご一緒に参加される方のお名前をご記入ください。(2名まで同伴していただけます。)

--	--

※お申込み時にお知らせいただいた個人情報は、本セミナーにかかる事務の目的のみで使用させていただきます。

## 社会福祉法人神戸市社会福祉協議会 市民福祉大学



### お問合せ先

〒651-0086 神戸市中央区磯上通3丁目1-32  
こうべ市民福祉交流センター内  
TEL: 078-271-5300 FAX: 078-271-5365  
E-mail: daigaku@with-kobe.or.jp

### 交通アクセス

- 各線「三宮」駅より徒歩15分
- 市営地下鉄海岸線「三宮・花時計前」駅より徒歩7分
- ポートライナー「貿易センター」駅より徒歩5分
- 市バス⑦系統「市民福祉交流センター前」下車すぐ